

郡上農林事務所の普及活動状況

令和元年 12 月 25 日現在

今月の重点活動

■普及活動成果発表 郡上市農業振興大会にて夏秋トマトの取り組みを発表

12月7日に郡上市美並町の日本まん真ん中センターで、郡上市内の農業者や関係機関職員等350名が参集して、2019郡上市農業振興大会が開催された。農業普及課からは、農業振興事例発表として「夏秋トマトの就農支援と栽培技術の向上」と題し、郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会や郡上トマトの学校に対する支援等について報告した。

夏秋トマト部会では、若手の新規部会員が増加していることから、就農1～2年目の部会員を重点的に巡回指導したことや、技術部会員が取り組んでいる遮光資材・新品種の検討、岐阜県GAP取得への支援について紹介した。また、郡上トマトの学校では、座学や栽培技術支援を行うことにより単収が向上したことを報告した。

農業普及課では今回の発表を通じて、郡上地域における夏秋トマト栽培に対する支援状況をPRすることにより、生産者の増加と産地の活性化を期待している。



【成果発表の様子】

多様な担い手づくり

■たかす簿記勉強会 青色申告実施に向けた支援

農業普及課では毎年12月～3月にかけて、郡上市高鷲地域の農家を主な対象とした「たかす簿記勉強会」を開催している。

12月25日に今年度の第1回の簿記勉強会を開催し、ソリマチ株式会社から講師を招いて、バージョンアップしたソフトの使い方や、10月から始まった軽減税率の処理方法などの説明をしていた。

軽減税率が始まったことにより処理方法に不安を抱えていた人が多かったことから、参加した農家からは「やり方が分かって安心できた」という声が聞かれた。

今年度の簿記勉強会は全8回の開催を予定しており、農業普及課が主体となって仕訳方法やソフトの使い方などの支援を行うこととしている。



【簿記勉強会の様子】

売れるブランドづくり

■南天 第19回郡上八幡南天まつり開催

郡上八幡南天生産組合は12月15日に郡上市役所前の産業プラザ駐車場で第19回の南天まつりを開催した。

当日は、ここでしか購入できない南天玉の購入を希望する人々が開場の2時間以上前から列を作って並び、用意しておいた143枚の整理券は販売が始まるころには配布を完了した。本年は事前に中日新聞の1面にカラーで取り上げられたこともあって、初めてやってきたという方も多くみられ、新たな顧客開拓に繋げることができた。

一方で、高齢化等により組合員は減少傾向にあることから、農業普及課では新たな生産者を確保するため、地元で定年帰農を検討している住民等へ積極的に情報提供を行うこととしている。



【南天玉を見つめる来場者】